

取組 5 就労の支援

取組の評価

3.0

概ね順調

＜ 取組5の基本方針＞

- 1 戦略的な人材育成
2 キャリアアップの支援

- 3 労働者福祉の充実
4 新たな雇用創出への支援

【取組の目的】 活力ある地域経済基盤を確立するため、だれもが安心して働けるよう就労を支援します。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 ・ 本 市 の 現 状 (主 な 取 組)

◎ 国の進める経済政策により円安が進み、輸出産業を中心に業績が改善しているものの海外需要の獲得のため、生産拠点を海外へ移転する傾向があり、雇用の創出が課題となっている。また、非正規労働者の割合が雇用者の3割を超え社会問題化している。◎ 全国の求人倍率は、1.0倍を超すまで改善したものの、ハローワーク管内では1%未満であり、雇用情勢は厳しい状況が続いている。新卒学生（大学生、高校生）の採用状況についても、大企業を中心に改善の動きはあるものの、依然厳しい環境下にある。

◎ リーマンショック以降、ハローワーク管内の有効求人倍率も回復傾向を示しているものの、厳しい状況が続いている。また、新規学卒者や離職職者の就職は依然として厳しい状況にあることから、雇用支援や更なる労働者福祉施策が求められている。こうした厳しい雇用環境にある中、平成25年度には新規・再就職活動に関する相談に对应する「職業相談」、雇用主や求職者を対象とする「支援セミナー」、企業と学生を結び付ける合同企業説明会などの就労支援を行った。また、引き続きハローワークの求人情報を、社会福祉協議会等に提供するなど、地域内で連携した雇用対策を実施した。◎ 新たな雇用創出の取り組みとしては、山科東工薬団地等への優良企業の誘致をはじめ、市内企業の新たな事業展開に必要な資金や情報、相談に対するあっせんなど、支援することにより雇用創出策を積極的に進めている。

『取組指標』の分析と評価結果

番号	指 標 名	項 目	H24		H25		
1	市内企業へのインターンシップ 制度利用率【％】	目 標 値	64.0		64.0		
		実 績 値	69.7		53.5		
		達成率	伸び率	108.9	14.2	83.5	▲ 23.2
		評 価	4		1		
2	就労支援セミナー等の開催回数 【回】	目 標 値	14		15		
		実 績 値	22		22		
		達成率	伸び率	157.1	57.1	146.6	0.0
		評 価	4		4		
		目 標 値					
		実 績 値					
		達成率	伸び率				
		評 価					
		目 標 値					
		実 績 値					
		達成率	伸び率				
		評 価					
		目 標 値					
		実 績 値					
		達成率	伸び率				
		評 価					

評価結果の平均値 (A) **2.5**

『取組』の有効性・必要性・緊急性の評価結果

評価項目	H25	備考欄
有効性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	2	◎ 新規・再就職に関する「職業相談」や雇用主や求職者を対象とする「支援セミナー」、企業と若者を結び付ける合同企業説明会などの就労支援を実施することにより、就職活動への不安解消をはじめ雇用のミスマッチ解消に向けた一定の成果となっている。 ◎ 雇用環境は、経済・産業動向と密接に連動することから、市内企業をいかに活性化させるかといったことが重要であり、就職支援だけでなく企業の育成支援も同時に取り組んでいく必要がある。
必要性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	◎ 雇用は、市民が安心して生活するための最も重要な基盤であり、厳しい雇用環境にある今こそ積極的な就労支援を展開する必要がある。また、雇用環境の改善は、消費動向の改善にも繋がり、結果、地域経済の好循環にも繋がる重要な要素である。 ◎ 雇用のグローバル化の進展などにより、長期的視点に立った就労対策の重要性が高まっており、小中学校における「職場体験学習」など、地域が一体となって企業の求める人材育成に取り組むことが求められている。
緊急性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	◎ 有効求人倍率や大企業を中心に新卒学生の採用状況に改善の兆しは見えるものの、依然として雇用のミスマッチの状況は変わっておらず、将来のまらの原動力となる若者の雇用対策は緊急性が求められている。 ◎ 円安が進んだことで、輸出関連企業の業績改善が進む一方、資源・資材を輸入に頼る企業については価格高騰により業績が悪化している状況で、今後、安定的な雇用改善に繋がるまでの間は、緊急性を持った支援が必要である。

評価結果の平均値 (C) **3.0**

《評估基準》

4 : 達成率 $\geq 100\%$ ・前年比伸び率 $\geq 0\%$
2 : 達成率 $< 100\%$ ・前年比伸び率 $\geq 0\%$

3 : 達成率 $\geq 100\%$ ・前年比伸び率 $< 0\%$
1 : 達成率 $< 100\%$ ・前年比伸び率 $< 0\%$

《指標に影響を与えた主な取組、要因》

- ◎ 市内企業へのインターンシップ制度利用率：袋商ショップで販売する商品取扱店で生徒の受入先が前年度より大幅に減少したため、利用率が減少した。
- ◎ 就労支援セミナー等の開催回数：市の主催が2回、ハローワーク主催が2回のため、現状維持となった。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

取組の評価					
3.0	概ね順調	各評価結果 の平均値	取組指標の 評価結果 (A)	有効性等の 評価結果 (C)	主要事業の 評価結果 (B)
			2.5	3.0	3.6

《 評估基準 》

4 ～ 3.6 : 順調
2.9 ～ 2 : 一部に改善を要する

3.5 ～ 3 : 概ね順調
1.9 ～ 1 : 全体的に改善を要する

番号	取組の基本方針	H24	H25	今後の展開方向
1	戦略的な人材育成			産学官（小・中学校、高校含む）の連携により地域が一体となって、企業の必要とする人材の育成を図るとともに、ハローワークと連携した就職支援セミナーを実施し、離職者等の再就職に向けた支援を行う。また、雇用のミスマッチを解消するため、企業と学生の“顔の見える関係づくり”として合同企業説明会やインターンシップ制度の活用を推進する。
2	キャリアアップの支援			離職者等の再就職に向けた支援策として、今後雇用が期待される農業や介護、環境などの分野への就職に必要な能力を身につけるため、セミナーや講座を実施するとともに、女性が出産や育児等で仕事を辞めることなく、キャリアを継続できるような支援を促進する。
3	労働者福祉の充実			ハローワークと連携した求職者に対する就業支援や、労働者の生活安定のため融資制度の活用を普及させるなど、さらなる労働者福祉の充実を図る。また、労働人口を維持していくため、結婚・妊娠・出産支援、子育て環境の充実、女性が活躍できる環境づくりや居住環境の充実を図る。
4	新たな雇用創出への支援			企業誘致を推進することで新たな雇用の創出を図るとともに、市内既存事業所においても、新規雇用に繋がる新たな技術・製品の開発支援を行う。また、企業の農業参入を積極的に推進することで、安定した収入が得られる農業の仕組みを確立し、新たな雇用創出につなげる。

《展開方向》

拡充（順調）

扩充（改善必要）

継続推進

縮小